



これから登る山をもっと知ろう

(より安全にかつ楽しむために)

指導部からのお願い

1388 指導部 M/K

指導部としてのメッセージはこれが三回目になります。最初はストックを例にとり、人に迷惑をかけない行動をしようがテーマでした。二回目は単独行はやめようと問いかけました。さて今回のテーマは「これから登る山をもっと知ろう」です。それはなぜかという、その山について知れば知るほど安全で、かつ、楽しめると思うからです。

私は最近こんな経験をしました。今年の会山行で『坂戸山』を計画しました。弥彦山と同じ634mの山、東京スカイツリーと同じ高さ、そして南魚沼市で誕生した英雄、上杉景勝、直江兼続が幼少時代を過ごした地元にある山です。カタクリで有名な山とは聞いていました。しかし自分自身では登った経験がありませんでした。募集期間が終わってみるとジャンボタクシーなら成立する状況でした。そこで会山行の10日前に下見山行に出かけました。城坂コースを登り、薬師尾根コースを下る予定の下見です。当日は天気恵まれかつ、歩きだしからカタクリがありました。しかし、沢を登って稜線に出るのですが沢の残雪が多く、上部にはクレバスが数か所開いていると下ってきた地元の方に教えられ、その日城坂コースを歩くのは断念し薬師尾根コースへとトラバースしました。会山行では今年の入会者が総員9名中5名いるからです。さて10日後の本番も運良く上天気恵まれました。10日前と比べると残雪ははるかに減少している様子が見てとれたので、皆さんに図り、城坂コースに行くことにしました。結果は大正解。残雪が消えるそばから

カタクリが咲き出すという状況のようで、麓から頂上までカタクリに逢う、そんな会山行を経験出来ました。坂戸山は巻機山の最前衛の山と言っていいでしょう。さて山頂からの景観です。坂戸山のすぐ南東には坂戸山の倍以上の標高を有する、金城山がのしかかるように、圧迫感を持って迫り、挑戦意欲をそそります。その奥には巻機山の本峰が少し顔をのぞかせています。又東側には福島との県境の尾根が2000mクラスの連なりで残雪を光らせています。北東側には八海山が、北には権現山が2つのピークをそろえ、さらに北には浅草岳が白く残雪を光らせています。真南には遠くに谷川連峰が、南西には苗場山の北面の斜面がおだやかなに横たわっています。快晴のお天気が私達にくれたプレゼントと感謝しました。当日私が用意した地図は二万五千分の一の地形図(六日町)と、登山地図(谷川岳)これは裏面にかなり広域の概念図がのっているのです。あとはインターネットから得た情報(楽山会の山行記録、百人百色のなかの記録)などです。



さて、皆さんが登る山を選ぶ基準は何ですか。漠然と会山行の計画書から選ぶ人、ガイドブックを読んで選ぶ人、インターネットを見て選ぶ人、人から誘われてという人、様々ですよね。会山行に参加する場合、参加者にはリーダーから、山行計画書と地図が渡されます。計画書には当日の行程、見どころ、参加者名簿、注意点など必要不可欠なことが記載されています。又、地図も国土地理院の2万5千分の1であったり、いわゆる登山地図であったり、カシミール（インターネットを利用）の地図だったりします。



私が皆さんにお勧めしたいのは、リーダーからもらった資料（情報）をそのまま持って山に入るより、自ら新たな情報を獲得したほうが楽しみが多くなりますよ、ということです。花がテーマの山行なら、徹底的にその山の花を調べ上げるというのはどうでしょうか。楽しみが倍加するのではないでしょう

か。山と溪谷という雑誌があります。又山毎のガイドブックもあります。エリア毎の本もあります。スタイル（尾根歩き、沢登り、岩登り、雪山、）別の本のありますよね。『花の百名山』なんていうビデオもあります。テレビでも山を歩く番組が多くなってきましたね。インターネットで調べることもできる時代です。連れていってもらい山歩きから、自ら参加する山歩きへと変わることによって山歩きのレベルは格段にアップします。そしてより深くその山を知ることにより、その山の持つ本当の魅力や、危険性への認識も高まります。山を歩くことは非日常の世界に身を置くことです。本人にはその意識は無いのですが。例えば菩提寺山を歩いていても、木の根っこにつまずいて転び、捻挫をするなんてことはいくらでもありますよね。何せ非日常の世界に入り込むわけなのですから。ことわざに『彼を知り己を知れば百戦危うからず』とあります。これは相手を良く知りかつ、自分自身を知れば百回戦っても負けない、の意味です。私達と山の関係も同じことが言えるのではないのでしょうか。彼（山）を知り己（自分自身の力量）を知ることで、山はもっと楽しく、そして安全に歩くことができると信じてやみません。皆さん、これからも安全登山に心がけて山を歩きましょう。